

# やじうま議会ウォッチング

## 平成31年3月議会「前代未聞！急遽予算修正可決。」



今議会は、陳情3件、議員提出議案1件、町長提出議案43件審議。3名の総括質疑、5名的一般質問。

**想定概算費用26億4700万円**  
の二宮町役場新庁舎建設が大きな争点となり、再検討を求め陳情も2件、総括質疑、一般質問、予算審査特別委員会でも度々問題や財政への影響が質問されました。また、**二宮町役場新庁舎建設特別委員会も発足**しました。

しかし、町からは町民説明会の説明以上の答弁が得られず、計画案を6月まで再検討する先延ばしが明確になっただけです。

### 前代未聞！町が急遽当初予算修正

特筆すべきは、3月22日二宮町議会3月定例会最終日の予算審査の表決に至る経緯です。

条例審査の表決は13件中5件が否決され、そのうち3件は来年度当初予算の変更に関わっています。

3件の否決された条例は、88歳の敬老祝い金を2万円から1万円に減額する「二宮町敬老祝

金条例の一部を改正する条例」、二宮町が独自に障害者に支給していたのを止める「二宮町在宅障害者福祉手当支給条例を廃止する条例」、町が独自に助成していた軽度の障害者の医療費も助成対象から外す「二宮町障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」です。

否決後、町は「条例案と予算の間で食い違いが起きてはいけない」という理由で議会に提出していた平成31年度当初予算案を撤回。否決された3つの条例案で削減される予定だった約8万5千円を予算上に復活させる修正当初予算案を議会に再提出。

町長提出議案の条例は4月1日から施行予定でしたので、当日が22日であり、後日表決では施行に間に合わないからか、町は議会に即時表決を求めました。

この修正当初予算案に7人の議員(前田、善波、羽根、二宮、杉崎、小笠原、根岸※敬称省略)は、**新庁舎整備事業の埋蔵文化財発掘調査委託料の平成31年度分3,520万円は残し、基本設計委託料5,051万5千円を除いた修正動議を提出**。修正動議が反映され、さらに修正された当初予算案が7対6で可決されました。(詳細はホームページをご覧ください)

### 政策と予算の結びつきを忘れず！

7名が提出した修正動議には、教育福祉常任委員会が改正条例が否決されたことによる予算変更は反映されておらず、新庁舎整備事業だけの修正だったので、町が当初予算の撤回をしなければ、修正動議はつじつまの合わない大変おかしなものになっていたところでした。しかも最終的修正案には埋蔵文化財発掘調査費は復活している、何のための修正か曖昧なものとなりました。町に議会が上手く転がされたように感じました。

先に開催された3月18日の予算審査特別委員会の当初予算案の表決では委員全員反対で否決されています。現新庁舎建設計画に

反対する議員の当初予算案否決の動きを察知した町が対策を練り、多数議員を誘導して可決させる裏工作がなされたように推測されます。

また、町が3月22日という年度末月末に表決予定の3月議会に予算に関わる条例を提出するということは、町の思い通りに可決されると考えていた証拠だと思えます。議会軽視ではないでしょうか。

当初予算の編成は11月には始まっているのですから、「条例案と予算の間で食い違いが起きてはいけない」と考えるのであれば、**予算**<sup>1</sup>**に関する条例は12月議会に提案**しなくては**いけないはず**です。

町も議員のみなさんも政策の現われである議案のほとんどが予算に結びついていることを**忘れずに！**議会の使命の一つである「**行財政運営の批判と監視**」がきちんと機能する議会体制を整えてほしいと思えます。

ちなみに3月議会の日程は、今回のことを踏まえて見直されるようですが、議会が町に議会軽視の糾弾をしないのは不思議です。

|                   | 議員名(敬称省略)   | 質問概要   | 傍聴コメント   |
|-------------------|---|--|--|
| 予算総括質疑<br>3月5日(火) | 根岸 ゆき子<br>(5期)<br>議会運営委員会<br>委員長、二宮町役場<br>新庁舎建設特別<br>委員会委員長 | <b>1 公共施設再配置実施計画策定後 1 年間で確認したい質問</b> ①百合が丘子育てサロンを中里地区の民間事業者による保育所に移転するに至った経緯と理由、統合しなかった町民サービスプラザは？ ②短期床面積削減候補施設の消防第2分団詰所と第4分団詰所は防災上急がれる内容だが、考えは？ ③中期での床面積削減候補施設の百合が丘保育園についての考えは？ ④地域集会施設の取扱いには新庁舎のスピード感と反比例しないように進められるのか？ ⑤保健センターは役場庁舎への機能移転すると空の施設として管理するのか？ サービス機能移転と施設管理の整合性についての整理をしてほしい。 ⑥学校給食センターの専門業者への委託は喫緊の課題だったのか？ ⑦庁舎の起債はゆくりした方が財政の健全化を保てるのでは？ 人口減少と町税収入の見通しに甘さはないか？ 学校の長寿化計画と改修工事実施費用は入っているのか？<br><b>2 役場新庁舎整備と町民との協働の在り方</b> ①まちづくり応援団とは何を指すか？ ②「町民が主役」と内容に違いがあるか？ ③町民とともにある自治体運営をするために向き合うことができているか？ | 公共施設再配置計画と現状の不整合や「まちづくり応援団」や「町民が主役」など村田町長の耳当たりの良い言葉に実態が伴っていない問題を追及する時機を得、村田町政のまちづくりの根幹に迫る質問で期待しました。大きな身振りを交えて質問を町長に迫る割には、言葉の歯切れも悪く、論点も、時には何を質問しているのかさえ不明で失望しました。議員を5期も務め、ベテラン議員なのに問題追及が甘いのは、論点を自分のものにしていなくて、本心は問題視していないのではと邪推してしまいます。初心に戻って、議員の使命を勉強し直し、厳しく追及し、場当たり的な町長答弁を許さなideてください。 |
|                   | 渡辺 訓任<br>(2期)<br>教育福祉常任委<br>員会委員長                           | <b>平成31年度予算案と施政方針についての所見を問う</b><br><b>1</b> 旧もとの家、旧かわわの家の現状は？ 法人運営の監督と町内の地域密着型施設への指導・監督の進め方。第7期介護府県事業計画と町の高齢者福祉に対する影響 <b>2</b> 次年度民間委託を急に拡大する背景と目的 <b>3</b> 消費税が引き上げられた際の対応。 <b>4</b> 今後の町財政の運営についての基準・規律。   | 町が具体的に答弁しないのを何故厳しく言及しないのか。問題に対して原因究明や町の方針、基準を持って対策していないのを許さないでください。将来住民が過大な責任を取られないように行政監視の使命を忘れずに。  |
|                   | 前田 憲一郎<br>(2期)<br>監査委員                                      | <b>次世代に問題なく引き継げるか不安な点に答弁いただきたい。</b><br><b>1</b> 何に重点を置いた予算編成なのか。 <b>2</b> 教育環境の整備に対する考え。 <b>3</b> 特色ある学校教育の推進と学校と地域の連携による子ども達の生きる力をどのように育むのか？ 予算が非常に少ないのでは？ <b>4</b> 高齢者福祉はどのような取り組みを進めていくのか通いの場の予算化は？ <b>5</b> 75歳以上の高齢者の条件付き医療費の無償化を実施すべきだと思うがいかがか？ <b>6</b> 新庁舎整備が町民サービスに問題の無い範囲か？ 次世代に大きな負担にならないか？ <b>7</b> 道路の補修整備を優先すべきと思うがいかがか？ <b>8</b> 地区要望に予算でどのように対応していくのか。   | 教育問題は実態データも交えて厳しく追及。しかし、全般的に町が実施したこと、実施予定のことについて、町長は詳細に説明したが、町のビジョンから何に重点を置き、その結果、どのような基準で優先順位を決め、事業を具体的に進めているのかわからないままでした。子育て支援に重要な教育に力を入れているとは言えない現状はわかりました。   |
| 一般質問<br>3月7日(木)   | 大沼 英樹<br>(1期)   | <b>1 役場新庁舎の計画について</b> ①庁舎建設の見直し②浸水ハザードマップに対する認識 ③より合理性のあり新庁舎建設④複合的な建設と分舎化で更なる利点を生めないか？ 免震に対する考え方と知識⑤なぜ直接方式なのか？ ⑥高額な委託費用と引き換えに手にするものは何か？ されているか？<br><b>2 道路補修・整備計画と職員の過重労働への対応について</b> ①耐用年数15年とする道路舗装整備の管理②無秩序な事業計画が就労環境に影響を及ぼしていないか？ <b>3 年度事業に対する補助金について</b> ①輸送今年度と来年度予定補助金等の説明。 ②新庁舎建設に見込んでいる補助金等の内訳④舎建設費予算 26億4700万円とした時の町民負担   | 旧公民館跡地を活用した分庁舎化など提案も交えた質問をしたが、町は集約化の一点張り、まちづくりビジョンは不明なまま。真摯な町の答弁を得るためには議会全体で改革しないといけないように感じました。町の財政が国、県に依存し、危うく、戦略的な町の考えはないように感じました。行財政をこれからもっと勉強して、厳しく問題追及し、町の真摯な答弁を引き出すことを期待します。   |
|                   | 羽根 かほる<br>(1期)<br>議会だより編集委<br>員会副委員長                        | <b>役場新庁舎計画及び財政計画について</b><br><b>1</b> 現庁舎の現状、町民の総意の点から新庁舎の必要性。<br><b>2</b> 役場新庁舎建設に伴う財政への影響及び全体の見直し   | 一般質問は議員が理解するために町の説明を得るのが目的ではありません。行財政運営批判と監視が目的ですから議員が町の説明を理解して終わる質問はしないでほしい。  |
|                   | 二宮 節子<br>(2期)<br>総務建設経済常<br>任委員会委員長                         | <b>海洋プラスチック問題とSDGs(持続可能な開発目標)について</b><br><b>1</b> 漂着物の種類と重さを町内外に発信する仕組み助教育<br><b>2</b> プラごみの削減推進<br><b>3</b> 副教材SDGsの取り組み<br><b>4</b> 町としてのSDGsの取り組み   | SDGs(持続可能な開発目標)について環境、教育、企画部門に迫る質問は興味深く、面白い内容で、町は第4次総合計画に盛り込むことがわかりました。さらに現在の町の課題に結びつけるところまで質問してほしかった。   |
|                   | 露木 佳代<br>(2期)<br>教育福祉常任委<br>員会副委員長                          | <b>役場庁舎について</b> <b>1</b> 町民参画か、町民参加か、両方違うのか？ <b>2</b> 町民の今後の関わり、そのタイミング <b>3</b> 「公共施設の再配置」の中の具体的施設や町有地の活用も含めた庁舎ビジョン。 <b>4</b> 庁舎に特化した人員を確保すべきではないか。<br><b>性的マイノリティに配慮した町のあり方について</b> <b>1</b> パートナーシップ制度(宣誓)の導入。 <b>2</b> 町の事業や町民への対応や設備の配慮。 <b>3</b> 職員の就労環境等における配慮。 <b>4</b> 町立保育園や小・中学校での学び、当事者である子の自尊心が守られる配慮。  | 新庁舎建設について詳細に厳しく追及し、町のつじつまの合わない進め方や町民に誤解を生む必要性、緊急性の説明を指摘したが、町の新たな進展は得られませんでした。性的マイノリティに配慮した制度を導入するつもりと町は答弁するが、一般論で具体的な考えや動きは見えてきませんでした。   |
|                   | 小笠原 陶子<br>(6期)<br>議会基本条例推<br>進委員会委員長                        | <b>買い物弱者対策について</b> <b>1</b> 出張商店街や「共同宅配」など誰もが利用しやすい商店街事業のニーズ把握、今後の対策 <b>2</b> ネットスーパー利用学習の開催の考え <b>3</b> ボランティアのモチベーションを高めるための対策<br><b>行政情報を正確に早く伝える方法を問う</b> <b>1</b> 町民に伝える方法や町の基本姿勢。 <b>2</b> 審議会や協議会の傍聴制度をより使いやすい見直し。 <b>3</b> 移動町長室の情報提供の在り方の見直し改善  | 買い物弱者対策は、二宮町の高齢福祉部門では地区の違いにより様々な努力がなされているようですが、町全体としてのビジョンも追及してほしい。町民のためにと町長は言うのにきちんとした行政情報発信基準、情報共有のしくみができていない現状を厳しく追及を。  |
| 質問しなかった議員         | 善波 宜雄、松崎 建、杉崎 俊雄、坂本 孝也、一石 洋子(敬称省略・議長を除く・議席番号順)              |  |  |

**6月議会を楽しもう!** 議会定例会開催予定 6月7日(金)~14日(会期8日間) 新庁舎建設についての動きが見逃せません。ぜひ、傍聴してください。会期以外の5月中にも二宮町役場新庁舎建設特別委員会が開催されます(3ページ参照)ので、傍聴しましょう。「しお風」議会ウォッチングもブログをご覧ください。 <http://shiokaze.blog.jp/>